

2023 年度高学年振り返り

○目標：「全国大会出場」は未達。

6 年生新チーム開始直後はほとんど勝てなかった。目標に向けて練習する中で夏合宿にて覚醒。合宿最終日は強豪の高崎（全国大会出場）にも 3 戦し 2 勝 1 敗となった。全国大会は結果として 1st ステージ敗退となり残念だが、宇都宮（地力は少し上に思えた）に勝利し・強豪の藤沢

（3 月は神奈川で相模原を倒し 2 位）にも後半 2 分まで同点と食らいついた。

良かった点：目標を設定することで、選手もコーチも本気になれた

改善点：1stステージの敗退後、受験組が離脱し人数も減った中、残った選手の意欲が明らかに低下した。他の学生スポーツと違い全国大会後も卒業まで競技を続けるので、大会後の目標設定が重要

○コーチ陣の反省点：当時はスクールの全面協力を得て、やれることはやり切ったと思っていたが

（例えば熊谷合宿・中学部への出げいこ・ヒーローズ前日の宿泊等）、練習の強度を春から 1 段と強めた方が良かった。また、神奈川の強豪チームや中学部への出げいこ、コーチとのコンタクトなど強度を上げる術はもっとあった。

HCとしての個人の反省点：厳しくなりきれなかった、戦術を落とし込めなかった（自主性を尊重する部分で中途半端になった）、プレッシャーのかかる試合特に前後半を指揮する経験が圧倒的に不足していた

○コンセプト：「ラグビーを生涯スポーツにしたいチーム作り」を選手・コーチ・保護者が一体となって目指す。：「概ね達成」

保護者も全員参加とはいかないが、父母のどちらかが参加している選手がほとんど。普段参加していない父母も最後の試合は応援に来ていた。卒業生 24 名中 21 名が中学校でラグビーを続けると（現時点では）表明しているのは想像していたよりも継続率が高かったのではないかと思います。

細かい練習や現場の運営の反省点をあげるときりがないですが、細かい点は次の世代にも引き継ぎながらより良いスクール活動が出来るようにサポートして行く所存です。

廣瀬